

テーマ

伝えよう！ 魅力ある弥栄の自然と文化を後世に

事業実施地区（中学校区名）	浜田市立弥栄中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	安城公民館 杵束公民館

テーマの背景

魅力ある弥栄の自然、魅力ある弥栄の人々。事業を通して、大人にも子どもにも弥栄に残る自然の再発見を促し、子どもたちや地域の人たちの郷土愛を育てていきたいと考えた。また、子どもたちの自主性を尊重した活動を展開し、経験値を高めたり、地域の大人と子どもが親しく交流する場を設定したりすることで、子どもたちにふるさとに誇りと愛着をもち、弥栄の魅力を守って欲しいと考えた。

実際の取組

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：ササユリプロジェクト

（生息地の調査）

<取組の概要>

「年々減少しているササユリを子どもたちの未来に残す」を合言葉に高齢者を中心とした農業と山仕事の達人8名による保護する会を結成。三瓶自然館の学芸員の応援を仰ぎながら、生息地の調査、減少の原因の研究、生育適地への種まきを実施した。また地域住民の気づきと保護への協力を得るため、生息状況、調査研究活動の報告のパンフレットを作成した。



<成果と課題>

保護活動を実施したことで、地域の人達のササユリの保護意識が高まってきた。直接子どもたちへの働きかけは少なかったが、子どもたちのためにという気持ちが原動力になっており、地域が子どもたちを育てる「共育プロジェクト」の取組につながった。地域外の方からも応援のメッセージもいただき、保護活動に生きがいを見いだした方もいる。今後の課題は活動を継続することと、毎年開花時期に子どもたちに花を見てもらうこと。ササユリ保護は弥栄以外でも取り組んでいる団体があり、活動の盛んな芸北町などとも交流を進め、地域全体でササユリプロジェクトに取り組む機運を高めた。

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：川遊び交流会・もちつき交流会

川遊び交流会

<取組の概要>

地域の高齢者が子どもたちに地域資源の魅力、昔の生活の様子を、川遊びを通して伝える。

実施日：9月10日（振替休業日） 場所：道猿坊公園

- 1 川遊び…自然の豊かさに気付く・釣りは食料確保の手段であり、家族の一員として当たり前
- 2 カレーライス作り…松の枝を使って火おこし・飯ごう炊飯体験
- 3 昔ばなし…会場となった道猿坊公園の名前の由来・川で遊ぶ時に語られていた「エンコウ」の話を聞く



(火おこしを教わる)

もちつき交流会

<取組の概要>

地域の方、子どもたちの祖父母が、餅のつき方、つきあがった餅のまるめ方などを、昔から伝わるやり方で子どもたちに教える。でき上がったお餅を色々な味付けで一緒に食べながら交流を持つ。

- 1 餅をつく、丸める作業
- 2 きな粉、磯部、チーズ、納豆餅作りを子どもたちも手伝い、参加者全員でいただく
- 3 浜田市内からマジックの講師に来ていただき、参加者全員で見たり種明かしをしてもらい、実際にやらせてもらったりしながら交流を持つ。

(餅つきの様子)



<成果と課題>

川遊び交流会は、夏休みに実施予定の事業だったが、例年になく高温の日が続き、参加する子ども、高齢者の安全を第一に考え事業の中止も検討したが、高齢者からの子どもたちに昔の生活を知ってほしいという強い思いがあり、日程を改め実施した。高齢者の「伝えたい」思いが伝わった。

もちつき交流会は、昔ながらの餅つきを再現することで、臼と杵を使った正しい餅つきの技をお年寄りから子どもたちへと伝承していく良い機会になった。

餅つきに限らず、豊富な知恵と経験を有する高齢者世代から子どもたちが学び伝承する機会を設定すること、また、高齢者から学び、子どもたちへ伝える役目を担う中間世代の存在が必要である。

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：結成！子どもまちづくり委員会

<取組の概要>

子どもたちが自分たちの視点で地域課題を見つけ、解決に向けて「まちづくり委員会」「公民館」と一緒に活動する会を結成する。

(ふるさとまつりステージ上)



<今年度の活動>

- 1 ふるさとまつりの中で行われるイベント「ふるさとやさか友・愛・誕～二十歳の集いプラス 1/2 成人式」の準備、当日の運営
- 2 やさかウルトラマラニック 2018 開催時にエイドでふるまうための、しそジュース作り
- 3 弥栄塾 2019～冬合宿～の準備

<成果と課題>

これまで、子どもたちが地域活動に参加したいという気持ちを持っていても、どうやったら参加できるか方法がわからなかったが、「子どもまちづくり委員会」の委員になったことで、地域活動に参画することができた。また、地域の祭りでステージに上がり、子どもまちづくり委員会の活動を住民に知ってもらうことができた。

「子どもまちづくり委員会」の中学生は、今年度は、まちづくり委員会や公民館が行ってきた事業と一緒に活動し、地域でどのような行事があるかを確認することができた。来年度からは、少しずつ自分たちで地域課題を見つけ、解決に向けて活動ができるようにサポートしていきたい。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

ササユリプロジェクトでは、専門家から話を聞くことで、ササユリについて理解を深め、次世代に伝えたい、守りたいという機運醸成につながった。

地域の方や子どもたちが一緒に活動する場を設定することにより、大人（高齢者）から子どもたちへ「伝えたい」「残したい」という気持ちと、子どもたちのやる気を引き出すことができた。

子どもまちづくり委員会を立ち上げたことで、弥栄の地域において子どもたちのアイデアからの活動が生まれ、地域全体が活気づくとともに、次世代につながる第一歩となった。

今後の展望

地域の様々な人々との活動や交流を通して、地域の人々との結び付きや、地域の一員として地域を大切にしていこうとする気持ちが高まりつつある。児童の人間性をより豊かに、郷土愛をより高められるよう、地域の人材の発掘を進め様々な年代の人々と活動したり交流したりする場を系統的・計画的に設けていく必要がある。